

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第37号
2022年9月25日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

沖縄県知事選に思う

去る9月11日、沖縄県知事選挙がありました。結果は立憲民主、共産、れいわ新選組、社民、地域政党の沖縄社会大衆党が推薦した現職の玉城デニー氏が再選を果たしました。得票は玉城氏およそ34万票、敗れた自民・公明推薦の佐喜眞淳氏は27万5千票、無所属の下地幹郎氏は5万票でした。玉城氏は「辺野古に新たな基地はいらないという民意は1ミリもブシていない」と訴えて国と闘い続け、昨年11月には防衛省の軟弱地盤の改良に伴う辺野古埋め立ての設計変更申請を不承認にして、辺野古新基地阻止の公約を貫いてきました。一方、佐喜眞氏は辺野古新基地建設を容認し、政府との話し合いを通して沖縄振興予算を3500億円以上にすると公約しました。つまり沖縄県民は、この知事選で再度、辺野古新基地建設反対の意志を表明したのでしょうか。ところが、この民意を無視して松野官房長官は記者会見で「辺野古移設が唯一の解決策（普天間基地の移設）で、着実に工事を進めていく」ことを強調しました。

このような自公政権の姿勢に対し岐阜に住む私たちも怒らなければいけないと思います。もう沖縄だけの問題ではないのです。民主主義が破壊されているのです。このまま沖縄県民の民意を無視して辺野古新基地が建設されるような既成事実が積み重なれば、もう戦争前夜です。私たちは今、分岐点に立たされています。

〔世話人・佐竹 哲〕



新基地ノ一の3度目の意思表示 9月12日付琉球新報WEB版



9月7日、環状線架橋工事の下を走る養老鉄道（南濃町志津）



戦後は続くよ どこまでも



大垣警察市民監視違憲訴訟が6周年になりました

① 「ものいう」自由を守る会総会と記念講演 7月30日 大垣市ソフトピアジャパン

最初に弁護団と原告の挨拶のあと、活動報告と決算、活動方針と予算が提案され承認されました。続く記念講演では、弁護団副団長の岡本浩明氏から、1審判決の成果と弱点、今後の課題についての話を聞きました。本件は大垣市の住民4人が原告となり、「公安警察に個人情報を収集・保有・利用・第三者に提供されたのは憲法違反である。」とし、岐阜県（県警）と国（警察庁）に対して賠償と保有する個人情報の抹消を求めたものです。

1審の岐阜地裁は、大垣警察警備課が民間事業者（中電子会社のシーテック社）に対して原告らの個人情報を提供したのは、非常に悪質で個人の権利を侵害し違法であるとして1人55万円の損害賠償を命じました。しかし公安警察による個人情報の収集保有については違法性を認めず、個人情報抹消請求も却下されました。これらの点を不服として原告らが控訴し、県と国もまた控訴して舞台は名古屋高裁へと移りました。

ソフトピアジャパン
参加者50人に制限しました。

「ものいう」自由を守る会HP→



② 控訴審第1回口頭弁論 8月31日 名古屋高裁

傍聴のため大垣駅前からマイクロバスが用意されましたが、名神高速の渋滞にはまり大変でした。名古屋は少し遠いけど大事な裁判だから、できるだけ頑張って傍聴に行こうと思います。

初めに原告の舟田伸子さんの陳述がありました。要約して紹介します。

★私は、24年間ぎふコラボ法律事務所に勤めていました。弱い立場の人達、人権侵害を受けた人達が裁判を通して正義を貫こうとする姿とそれを支援する人々から学んできました。どんなに困難でも民主的な話し合いと法律によって問題を解決する道筋があることを学んできました。大垣警察はシーテック社に対して、「三輪唯夫はぎふコラボ法律事務所の舟田伸子と強くつながっており、そこから風力発電への反対運動が全国に広がってゆくことを懸念している。今後過激なメンバーが岐阜に応援に入ることが考えられる。身に危険を感じた場合はすぐに110番してください。」と言っています。これを聞いたシーテック社の人は、私という人物をどう思ったか。あたかも風力発電事業への反対運動のためにとんでもない暴力的な事件を引き起こす危険人物として認識したでしょう。

なぜ私だったのでしょうか。風力発電予定地の住民でもなく、法律事務所も休職中の何の関係もない私だったのでしょうか。公安警察はもっと以前から私の個人情報を集めていたからこそ、この情報交換の場に私を登場させたのではないのでしょうか。さらに私が情報収集の対象になっていたことは、私につながる全ての友人、知人、家族も同じように収集の対象になるということです。今度の控訴審でも、法的根拠の無いまま、公安警察が「公共安全と秩序」の為には、個人の基本的な人権を踏みにじってまでも情報収集することをやむを得ないとすれば、それはもう民主国家でもなければ、法治国家でもなくなってしまいます。.....★

この後、弁護士からの意見陳述があり、さらに次回の公判を11月16日（水）と決めて閉廷しました。

2022・9・20
世話人 中野一美



名古屋高裁前
約100人が集まりました。

「国葬」と旧「統一協会」問題について

世話人 問山尚義

◆ 憲法から見た「国葬」 ◆

先の参院選のさ中に、銃撃され亡くなられた故安倍総理に対して、心よりお悔やみを申し上げます。以下、安倍氏「国葬」問題について議論の一助になればと思い、「西濃民商ニュース 988号」に寄稿した文書を一部加筆修正して転載させていただきます。

まず何よりも「国葬」を取り仕切る法律が存在しません。従って、予算規模やその内容の是非を判断する基準がありません。

では法律を作ればいいのかとの議論がありそうですが、立法できない事情があります。法律は政府が国民に命ずるものである限り、何らかの規範性とそれに伴う強制性は避けられません。「お弔い」という最も人の内心の領域に踏み込んだ行為を公的機関が行えば、憲法上の価値の中でもとりわけ重きを置く、個人の尊厳や内心の自由と衝突せざるを得ません。だから今まで法律化できなかったんだと思います。

岸田総理は「国葬」を「国全体で安倍氏に弔意と敬意をあらわす場」と言っていました。でも「国葬」の形をとる限り、この意味付けは避けられないでしょう。

安倍さんの業績の評価は大きく分かれており、私は評価できません。しかし事の核心は安倍さんの業績評価ではありません。たとえ国民の圧倒的多数が尊敬する人物であっても「国葬」はすべきではありません。

公権力は人の内心に踏み込んではいけません。この原則を、憲法は次のように政府に命じています。

「第十九条 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。」

以下は本会報への書下ろしです

◆ なぜ「縁を切る」のか語らぬ岸田総理 ◆

統一協会

「国葬」を予定されている故安倍総理といえば、話題の旧「統一協会」と自民党をつなぐ中心にいた人物です。第2次安倍内閣になってから、自民党の国会議員が「協会」との関係をおおむね隠さなくなったと言います。

「統一協会」といえば、若い頃街角で黒板を立てて熱弁する若者を見たことがあります。今思えばあれが「親泣かせの原理運動」だったんだなと気付かされました。

岸田総理は自民党は旧「統一協会」と縁を切ると言いましたが、縁を切らなければならなくなった理由を明確に語りません。旧「統一協会」がオウム真理教の二の舞にならずに延命できたのは、政治家の圧力があつたからと言われています。旧「統一協会」を生きながらえさせ、被害を拡大させた責任が自民党や安倍元総理にも及ぶ、「国葬」に根本的な疑問符が付く、このことを避けたかったのではないかな？そんな疑問が湧きます。

萋の花と蜜蜂

◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

- ★ぎふコラボ友の会 40周年企画 →別紙チラシあり
日時：10月1日（土）午後2時～
場所：ソフトピアジャパン1F セミナーホール
主催：ぎふコラボ友の会
- ★彰元さんのつどい →別紙チラシあり
日時：10月21日（金）午後1時半～
場所：大垣別院
主催：真宗大谷派大垣教区
- ★ぎふ平和の集い →別紙チラシ（簡略モノクロ版）あり
日時：11月3日（木）午後1時半～
演題：「紛争地、被災地の声から考える平和」
講演：安田奈津紀さん（フォトジャーナリスト）
場所：岐阜市文化センター2F （入場料¥1,000／チケット希望は世話人まで）
- ★大垣警察市民監視違憲訴訟 控訴審 第2回口頭弁論
日時：11月16日（水）午後2時～
場所：名古屋高裁 1号法廷

編集後記

残暑が止み一気に秋の気配となってきましたが、直近9月の世話人会では、コロナ感染者数の推移を横目で睨みながらも、屋外の企画や屋内でも映画を見るぐらいならではないか、との雰囲気になってきました。とはいえ今回の第7波では、会員さんのなかにも、また私の所属する西濃民商でもそこそこの数の陽性者が出ており、まだ予断を許さない状況には違いありません。

本会報では「沖繩知事選」、「大垣警察市民監視違憲訴訟」、「国葬」の3題としましたが、因みに安倍晋三氏の本葬は安倍家ですでに済ませているのは周知のところですが、その私的葬儀に自衛隊の儀仗隊が公費で参列していたのはあまり知られていません。呼んだのは実弟である岸信夫防衛大臣（当時）だそうです。人生の終焉にあたって行政私物化とは、言葉をなくします。

旧「統一協会」の正式名称は「世界基督教統一神霊協会」であり、略称として「統一教会」「統一協会」どちらもあるようです。マスコミレベルでは「教会」の表記が多いようですが、キリスト教の一会派であるかのようなミスリードを避けるため3頁の記事では「協会」と記しました。

世話人 問山尚義

九月十一日
月齢十五の満月過ぎの明るいう月と木星が大接近



連絡先

「9条の会・養老」世話人
090-9183-0444 中野一美（代表）
090-9894-0444 佐竹 哲
090-2348-0719 問山尚義
090-8733-0090 禿 憲正
fax（問山）
0584-71-8746
E-mail（問山）
toiyama@ninus.ocn.ne.jp